

## 8-4-26 システム改善専門委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 活動概要

建設コンサルタントにおいては、エラーの撲滅は最大のテーマであり、成果品のエラー防止のツールとして、協会会員企業の多くが導入しているQMSの有効活用が期待されている。しかし、QMSを運用していく上での課題や問題点も多く顕在しており、その解決に悩んでいる企業も多くみられているのが実状である。

当専門委員会は、会員企業がQMSを含めたマネジメントシステムを効果的に運用できるよう、有効かつ最新の情報を提供していくことを目的に活動を行っている。

マネジメントシステムの運用の仕方も時代とともに変化してきていることから、社会情勢に応じてシステムを見直していくこともシステムの実効性の向上を図る上で重要な要素になっている。

#### (2) 委員会の開催

委員会は11回開催した。

#### (3) 主な内容

平成28年度はセミナーでの要望、意見やISO9001の改正を受けて、以下の3つのテーマについて検討を行った。

##### ①ISO9001：2015の改正について

2015年9月にISO9001の規格が改正されたことから、改正の内容と2008年版からの変更点について検討を進め、会員企業が規格の改正によるシステムの更新に際し役に立つような資料を整理した。また、会員企業がシステム移行及び運用について今後の参考になるよう利用手引を作成した。

##### ②リスクを考慮したQMSの運用事例

昨年から引き続きリスクに対する取り組みに注目し、会員企業にアンケート調査し、効果があったと判断される対応策について、その具体策と対策効果の詳細な情報を得るためヒアリングを実施した。結果をまとめ、対応事例について、原因、対策、効果及び具体的事例(帳票等)の項目で整理した。

##### ③ISO55001の動向と認証取得状況

昨年のセミナーでも要望があったことからISO55001に関する最近の動向について調査、検討を行った。さらに、ISO55001の認証取得状況を調査し、認証を受けた団体にヒアリングを行い、認証を受けるにあたっての問題点や課題、取得したことによるメリット、デメリットについて整理した。

##### (4) セミナー開催

当委員会の主な活動の成果を、平成28年7月に全国9支部で開催された「マネジメントセミナー」で報告した。

なお、会員企業の参考に資するため、セミナーで使用したパワーポイントは協会ホームページに掲載している。

### 2. 次年度の活動について

平成29年度は、マネジメントシステムに関する情報提供を行うことを目的に、QMSの運用に際しての問題点、課題とその解決策について調査・分析する。さらに、アセットマネジメントシステムのその後の状況やマネジメントシステムのISO規格化に関する最新の情報を収集整理する。

具体的には以下に示す内容について、情報収集、検討、整理を行い、会員企業に情報を提供する。

①ISO9001：2015の改正によるQMSの移行審査を受けた企業の取り組み状況

②リスクの分類について見直しを行い、規格の改正に合わせてリスク及び機会を取り込んだQMSの効果的な運用事例の紹介と会員企業へのヒアリングの実施

③AMSのその後の状況、またはマネジメントシステムの全体の動向及び新しく規格化されるマネジメントシステム(例えばISO45001：安全衛生)の紹介

④QMSを効果的に運用するに当たり参考となるよう、手引のポイントと運用事例について紹介

これらの活動成果について、セミナーで発表を行う予定である。

(システム改善専門委員会委員長 黒木 隆宏)